令和2年3月大竹市議会定例会(第1回)

一般質問及び総括質疑通告表

1.

5番 中川 智之 議員

質問形式 一問一答

防災について

- ① 災害発生時等の情報共有について
- ② 防災リーダーの養成、スキルアップについて

乳がん検診について

乳がん検診の現状と乳がんグローブの提供

2.

13番 山崎 年一 議員

質問方式：一問一答

「改正子どもの貧困対策法」について問う

「改正子どもの貧困対策法」の改正点について。

「放課後児童クラブの民間委託」について問う。

民間委託の提案は唐突でした。今後の課題等について

「地域医療構想」について問う

現在の状況と今後の進め方について

3.

4番 小中 真樹雄 議員

質問形式 一問一答

水道事業は公営維持が不可欠

昨年10月の改正水道法の施行により、自治体が施設を保有しつつ運営権を民間に売却する「コンセッション方式」の導入が可能となり、宮城県が2022年の事業開始をめざしているほか、大阪市も一部検討を進めています。一方、浜松市では、市民の不安が大きく検討を延期しています。

広島県では、経営基盤の強化のため独立採算により水道事業を実施している21市町のうち、2022年度に賛同する市町と県が統合し企業団を設立、2023年度事業開始を目指すとの工程表を示していることが2月21日の生活環境委員協議会で説明されました。

水道事業は今後、給水人口の減少や設備の老朽化、人材・技術力不足が見込まれるため、宮城県のように民営化をめざすもの、広島県のように広域連携で国の補助金も利用し事態を打開しようとするものに分かれています。民営化は料金値上げがしやすく、施設維持の適正化が十分図られ、安心安全な水の供給が続けられるかに不安が残ります。海外では、民営化後に料金が5倍になるなどして、再公営化になったところもあると聞きます。そこで、市に今後とも水道事業の公営を堅持する覚悟があるのかどうかを問います。

水道は最も大事なライフラインであり、公営が不可欠と考えます。県の広域連携に参加す

れば、民営化という事態は必ず避けられるのですか

次に現時点で統合したとしたら、料金や施設管理、技術者養成などどうなるのかわかっている範囲でシミュレーションを具体的に示してください。それと、連携に参加する判断のポイントも説明を。

尾道市は現時点で賛同せずと表明しています。広島市も積極的ではないようですが、水の安全安心を守るには水道事業の公営維持が絶対に必要です。長期的視野で考えていただきたい。

市営住宅における独居高齢者について

市は今議会で、市営住宅入居に際して、連帯保証人を不要とする条例改正案を提出しています。これまで滞納対策などから連帯保証人を必要と規定してきたのですが、セーフティネットの最後の砦である市営住宅入居に、連帯保証人確保の条件をはずしたことはよいことだと考えます。

これまで連帯保証人がいないため入居できなかつた人はどれくらいいますか。また、市営住宅における身寄りのない高齢者はどれぐらいの割合になりますか。さらに「孤独死防止」などの見守り策はどのようになされていますか。

他市町村で独居高齢者の見守りに企業や郵便局と協定を結んでいるところもありますが、大竹市の状況を伺います。

4.

2番 藤川 和弘 議員

質問方式：一問一答

阿多田島地区、乗船支援について

米軍基地が存在する限り騒音被害は続きます。再編交付金が令和3年度で終了、令和4年度以降、再編交付金に代わる新たな交付金制度に向けてどのような要望活動に取り組んでいるのか。今後どう取り組むのか。

また、騒音被害、診療所の問題のある阿多田島。フェリー代の助成を受けていない方にもフェリー代の助成をお願いしたいのですが、どうお考えか。

5.

6番 小田上 尚典 議員

質問形式 一問一答

消防団のこれからについて

南海トラフ地震などの大規模災害が危惧される中で、地域防災力の中核と位置づけられている消防団の役割は多様化、増加するばかりです。

その中で、団員確保は大きな課題です。今後の取組を伺います。

マイナンバーカードの推進、マイナポータル等の活用について

マイナンバー制度を活用したポイント還元事業の実施が迫る中、本市におけるマイナンバーカードの推進や、子育て世代へのマイナポータル活用の現状や今後の取組を伺います。

6.

16番 山本 孝三 議員

質問形式 一括

太陽光発電事業について

県に建設許可を申請されている谷和地域への太陽光発電事業について、大竹市として適切だと判断されているのでしょうか。

水道事業の広域化・民営化について

国・県の指導にもとづき県内関係市町の協議がされてきました。この間すでに「合意」事項はあるのでしょうか。大竹市の基本的対応について伺います。

医療・介護保険制度の充実・負担軽減について

政府は社会保障制度の見直しの中で、医療・介護について、一層の負担増を求めています。大竹市の対応について伺います。

7.

14番 日域 究 議員

質問形式 一問一答

行政はネウボラという「言葉」をもてあそばないでほしい。

現行制度のどこをどのように変えることを狙ったものですか。問題は名前ではなく中身です。

嵐谷の立ち入り調査で気付いたことをお尋ねします。

許可を受けた最初の計画と施工したものがどう違うのかお尋ねします。

そして、当初の設計と大きく違っているのに気付いた廿日市市は、変更の申請をするよう業者に要請。その場合、森林審議会の審議はどのように意味を持つのか。